

総合政策・企画課長
協働推進・まちづくり課長
地域政策・産業振興・観光課長 殿
総務課長
健康福祉課長

日経東発第60014048号
令和元年10月16日

一般社団法人 日本経営協会
理事長 岡島 芳明

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

地域コミュニティ形成と活性化の進め方

～協働の成功条件を考える～

<令和2年1月30日(木)・31日(金)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

都市型社会の浸透と人口減少・職員減少・人口構造の変化により、今後地域コミュニティをどのように形成し、展開していくかが地方自治体の大きな課題となっています。こうした中で今日、協働を軸にして住民の意思が反映される、自立型のコミュニティが求められています。

本セミナーでは、自治体での豊富な業務経験を始め、庁内研修の職員指導でもご活躍されている松下啓一氏のご講義や、若者と地域の連携についてのご発表、活発な討議や情報交換、課題の共有を通して、協働と連携による魅力的な地域づくりの在り方を探っていただきます。

公務ご多忙の折りとは存じますが、関係者の方々多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

記

日 時：(12:00から受付)
令和2年1月30日(木) 13:00～17:00
1月31日(金) 10:00～16:00

講 師：(元)相模女子大学 教授 松下 啓一氏
パートナーシップ市民フォーラム さがみはら 顧問
：相模原市南区若者参加プロジェクト 委員長 草野 百花氏
：相模女子大学マッチングプロジェクト 委員 大坂 理智氏
(南区区民会議委員)

会 場：日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8)

参加料：会員(1名) 29,000円 } 31,900円
(負担金) 消費税 2,900円
一般(1名) 32,000円 } 35,200円
消費税 3,200円

申込方法：①FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。
②Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。
・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
・お申込みは開催日の3営業日前までお願いいたします。
・本講座は、定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。
キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3営業日前まで)にご連絡下さい。
開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他：参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。



お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お電話でのお問合せは月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いします)

東京本部 公務研修グループ

〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130

E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

▶プログラム◀

新しい地域づくりの理念と方法ー協働を手がかりに

1. 協働の基礎理論

(1) 協働のイロハ

- ・協働は、行政とコミュニティと一緒に活動する（汗をかく）ことではない。
- ・協働は、持続可能な自治をつくるためのパラダイムである。
- ・協働には、一緒にやらない協働もある。

(2) 国語としての協働、NPOからみた協働、自治体が行う協働

(3) 協働は、全職場にある

- ・NPOや地域コミュニティと直接関係がない職場にも協働はある。
- ・協働を全職場に広げるためにはどうしたらよいか

2. 研修参加自治体のプチ自慢

3. 地域コミュニティと協働

- ・地域コミュニティの現状
- ・新たな地域コミュニティ政策

4. 地域コミュニティ再生のための新たな試み・事例紹介

- ・地域自治区（地域予算、地区担当制度等）
- ・有償事業など

1月30日(木)

事前提出物

*お申込み後に事務局から「事前課題」をお送りいたします。「事前課題」は、メールでご送付いたしますので、参加申込書に必ずメールアドレスをご記入下さい。

5. 報告・意見交換

協働の成功条件ー「若者と地域の連携」のなかで分かったこと

相模原市南区若者参加プロジェクト 委員長 草野 百花氏 相模女子大学マッチングプロジェクト 委員 大坂 理智氏
相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー 松下 啓一氏

地域が抱える悩みのひとつが、若者が参加してこないということです。

相模原市南区若者参加プロジェクトは、附属機関である区民会議（附属機関）から生まれた組織で、区内の若者や大学生が中心となって、地域のまちづくりを推進する組織です。相模原市南区の資源を発掘する「南区アイデアコンペ」やメンバーが、地域の自治会に出かけ、楽しく議論するファシリテーション技術を伝えるなどの多面的な活動を続けています（最近では、高校生をまちづくりに引き込むプロジェクトを始めました）。

マッチングプロジェクトは、相模女子大学の学生が作った組織で、地域のお祭りなどの活動団体の悩み＝若い人が来ないという課題と、若者の想い＝何かをやりたいをつなぐ（マッチング）する組織です。

この地域と若者との協働活動の実践を通して、協働が上手くいくためのヒント、成功条件、これはやってはいけないことなどを考えます。

6. まとめ 協働の成功条件（チェックポイント）

1月31日(金)

★本講座では、講師の著書『若者参画条例の提案ー若者が生き活きと活動するまちをつくるために』（萌書房）を資料として配布します。

講師紹介

松下 啓一（まつしたけいいち）氏：元相模女子大学教授。2018年4月より、同大学「夢をかなえるセンター」エグゼクティブアドバイザー。パートナーシップ市民フォーラム さがみはら 顧問。現代自治体論（まちづくり・NPO・協働論・政策法務）。元横浜市職員（総務・環境・都市計画・経済・水道などの各部局で調査・企画を担当）。

著書は、『市民活動のための自治体入門』（大阪ボランティア協会など）、『市民協働の考え方・つくり方』（萌書房）、『協働が変える役所の仕事、自治の未来』（萌書房）、『自治体若者政策・愛知県新城市の挑戦 どのように若者を集め、その力を引き出したのか』（萌書房）等。

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60014048 「地域コミュニティ形成と活性化の進め方」参加申込書

※NOMA記入

--	--	--	--	--	--	--	--

令和2年1月30日～31日

会員 一般（該当欄にレ印）

役所名	電話	()	内線	<ご連絡担当者>
	FAX	()		
所在地	〒			所属
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	氏名
			年 月	
参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	メールアドレス
			年 月	
参加者氏名	所属部課	役職名	経験年数	<通信欄>
			年 月	

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □不要

（経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください）